

「M情報」活動企画運営団体  
 救う会大阪 NO!民主桜組  
 米国に原爆投下謝罪を求める会  
 大阪の公教育を考える会  
 スパイ防止法の制定を求める会  
 外国人参政権に反対する会・関西  
 日教組の違法行為を告発する市民の  
 竹島を奪還する会・関西  
 靖国神社の御霊に感謝する会

# MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西の  
情勢を  
分析する

No. 110  
 【発行・編集】  
 MASUKI 情報デスク  
 増木 直美  
 大阪府吹田市古江台2-10-13  
 TEL 090-3621-1509  
 FAX 06-6835-0974  
<http://mid.parfe.jp/>  
 mid@jewel.ocn.ne.jp

# 打倒鳩山民主党！ 「靖国神社を粗末にする 政党は絶対許さない」編

かつて、『日本丸』が難破しかかたことがある。そのとき自分の命を賭けて護った人達がいた。そして今、彼らは靖国神社で静かに眠っている。靖国を粗末にすること。靖国で騒ぐこと。私たちは絶対に許さない。

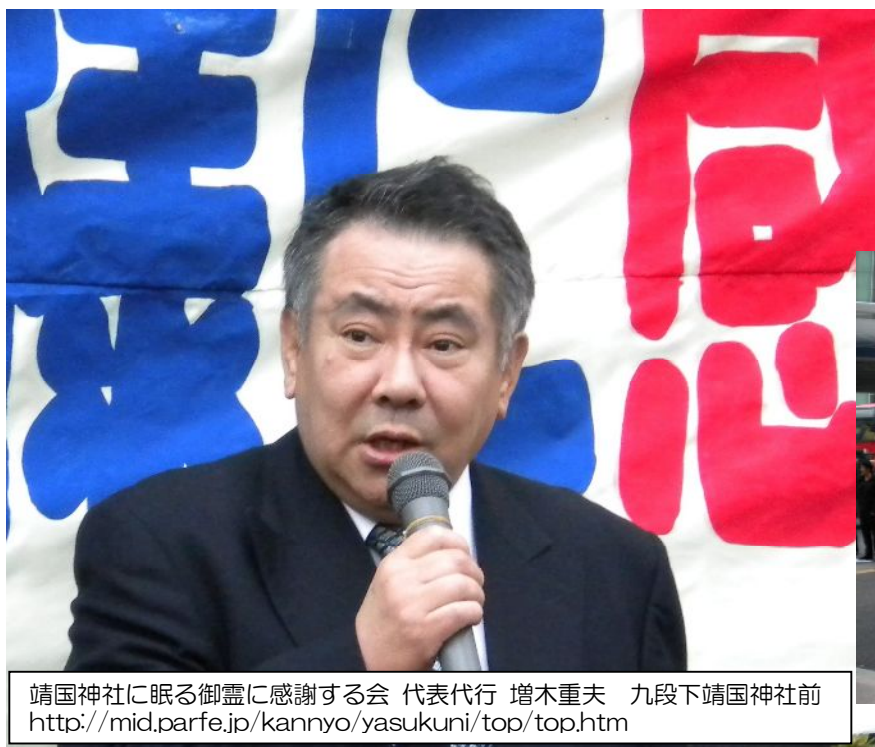
靖国神社に眠る御霊に感謝する会

「花の都の靖国神社 春の梢に咲いて会おう」

私達は、関西からの遠征を待っていたかのように桜満開の四月四日、靖國會（事務局長沼山光洋）、桜組（代表服部英子）、外国人参政権に反対する会・東京（代表村田春樹）、等の諸会の全面協力を得、「靖国神社に眠る、尊い命を捧げ日本を護った皆様に感謝しよう」と題し、午前靖国神社前九段下、午後は有楽町で街頭演説会を行いました。また、夜は、文京区民センターで、昨年八月十一日、靖国神社で神をも恐れぬ狼藉を働いた、台湾立法議員高金素梅に「二度と日本の土を踏ませない国民大集会」と題し集会を行いました。

この集会では、三月三十一日に徳永弁護士が麹町警察署に一一九〇名の二次告訴・告発を行ったことを報告され、また、目標五千人の告訴・告発委任状を集めようと決議しました。

今回の活動のきっかけは、高金素梅の刑事告訴・告発をアピールするための集会でした。しかし、私たちは、私たちの活動の原点である、「国家主権、それを命がけで守った人達がいる。」ことを肝に銘じるため、毎年、御霊も宴会をされるであろうこの花のとき、関西から、九州から、彼らに感謝の真を伝えるため、靖国前九段下に集い、マイクを持って道行く人に気持ちを言葉で伝えたいと思います。来年は四月三日の予定です。



靖国神社に眠る御霊に感謝する会 代表代行 増木重夫 九段下靖国神社前  
<http://mid.parfe.jp/kannyo/yasukuni/top/top.htm>

午後、会場を有楽町に移動  
 全員で「靖国を守ろう！」  
 先導は 松谷祐子（桜組）



# 台湾立法院 高金素梅に二度と日本の土は踏ませない

高金素梅らの靖国神社での暴挙に対し、礼拝所不敬罪等の罪状で刑事告訴・告発を行います。告訴・告発代理人宛の委任状にご協力を

## 高金素梅靖国狼藉事件

### 刑事告発ご協力をお願い

去る平成21年8月11日、台湾の立法院議員高金素梅ら一行約五十名は突如靖国神社境内に現れ、神社に眠る多くの御霊の面前で、「靖国神社は合祀を止める！」等と書いた横断幕を掲げ、拡声器を用いて「靖国No!」等のシュプレヒコールを連呼して行進して拝殿に迫り、あるものは静止する警備の神職に傷を負わせ、あるものは賽銭箱をまたぎ土足で拝殿に入るといった信じられない暴挙が、白昼、多くの参拝者が見守るなかで行われました。やがて高金素梅らは、持ち込んだブラカード等を境内に捨て置いて意気揚々と引き上げ、彼らを日本に招聘した社民党本部に凱旋して拍手をもって迎えられ、台湾帰国後、北京に赴いて胡錦濤首席に戦果を報告するなど、全くの英雄気取りであり、反省の色は微塵もないようです。

此処に至っても拱手傍観するならば、靖国神社の英霊祭祀を大切に思っている多くの日本人の心の在り方を誤って伝えることになりかねません。事実、昨年末には、某反日団体により高金素梅の狼藉を助けた暴挙が繰り返されそうになりました。人々の崇敬を集める礼拝所において無礼を働くことは、刑法188条(礼拝所不敬罪)が禁じることです。いかなる政治的パフォーマンスも人々の心を踏みにじる形において行われることは許されません。今こそ、怒りの声を挙げ、日本の司法に對して高金素梅に対する厳正な処罰を求め高金素梅が二度と日本の地に足を踏み入れ靖国神社に対する狼藉を働けないようにしなければなりません。

私たちは、靖国神社の尊厳と日本人の魂を守るため、志を同じくする弁護士らに委任して告訴・告発の手続を執り行うことを決意し、昨年11年12月28日、あけぼの会代表門脇朝秀氏を代表として第一次告訴告発を行い、平成22年3月31日に1290名による第二次告発を行いました。現在、「多くの日本国民が怒っているんだ。」ということを示すため、三次、四次・・・の告訴告発を準備中です。

今回の作戦は靖国応援団が中心となつて取りまとめを行っておりますが、それを側面支援し、一人でも多くの方にご参加頂くことを切に願っております。告訴・告発人に名を連ねて下さいますようお願い申し上げます。

### 【呼びかけ人(敬称略)】

湯澤 貞(靖国神社第八代宮司)  
板垣 正(元参議院議員)  
中條高德(英霊にこたえる会会長)  
土屋敬之(東京都議会議員)  
穴倉清蔵(千葉市市議会議員)  
小田村四郎(李登輝友の会会長)  
小林幸子(二宮報徳会会長)  
石戸谷慎吉(英霊奉賛日台交流会)  
三輪和雄(日本世論の会会長)  
三宅教雄(台南会会長)  
森 敬恵

### 【告訴・告発人団(1次)】

門脇朝秀(あけぼの会代表)  
西村真悟(前衆議院議員)  
古賀俊昭(東京都議会議員)  
三宅 博(前八尾市議会議員)

### 取りまとめ(送付)先

〒565-0874  
大阪府吹田市古江台2-10-13-3L  
マスキ情報 090-3710-4815 (増木)  
◎ 詳細、委任状のダウンロードは  
<http://mid.parfe.jp/kannyo/yasukuni/bakinkokuhatu.htm>

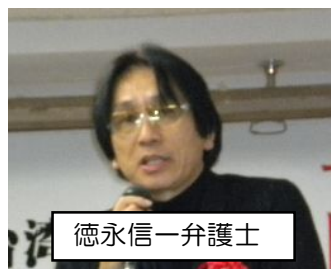
※ この委任状は「靖国応援団」で最終集約し、警視庁麹町警察署に提出

### 【三警署に提出する協力】

当日、高金素梅靖国狼藉の現場におられた方、おられた方を存知の方、マスキ情報まで一報をお願いいたします。  
090-3710-4815 (増木)



スタッフ全員で参拝



徳永信一弁護士



湯澤貞第八代宮司



藤島雄平同志社大1回



小林幸子二宮報徳会会長



古賀俊昭東京都議



沼山光洋代表幹事



# 靖国神社に眠る、尊い命を捧げ日本を護った皆様に感謝しよう

ゼネコンの小沢、マザコンの鳩山、そして今度は中井国家公安委員長の女性問題。3月23日の参議院予算委員会では連立を組む福島みずほ大臣が「閣僚としては(自衛隊が合憲であることを)認めるが、社民党としては認められない。」などと「一歩外に出ればオレは独身」などと嘯く○○さんみたいなわけのわからない発言をしています。子供手当てや外国人参政権等問題山積みの民主党、まあいいでしょう。全て目をつぶるとしましょう。しかし、靖国参拝の件、これだけは絶対許せない。鳩山政権は、政権樹立とともに早々と閣僚たちと全員靖国神社に参拝しないことを申し合わせ公言しました。このような政党に政権を任せていいのでしょうか。

今から65年前、日本はアメリカ等の国を相手に太平洋戦争をおこないました。正しくは「大東亜戦争」と言うのですが、その戦争で皆様もご存知のように多くの日本人がなくなりました。そして亡くなった彼らを祀っているのが靖国神社です(正確にはそれ以前に亡くなった人も祀られています)。この戦争にはいろいろな見方があります。「侵略戦争だ!」という人もいます。しかし「侵略」であらうがなかろうが、

彼らが日本の繁栄と私たちの安寧を願う「命」を差し出し散っていったことには間違いありません。彼らは日本を護るため征き、そして闘ったのです。「靖国で会おう!」という言葉を残して。これは国家と亡くなった人との約束です。「人命は地球より重い」と言った政治家がいました。であるなら、その重い命と引き換えに戦地に赴き、そして亡くなった彼らの意思は最も尊重されるべきではないでしょうか。

我日本が存続する限り、この約束は守らなければならぬのです。私たちも「命」には「命」をかけて。

「靖国神社にはA級戦犯も祀られている。」などとわけのわからないことを言う外国に気を使って総理を始め閣僚は靖国神社に参拝しません。どこの国に他国に気を使い国家のために亡くなった人達への慰霊を取りやめる政府があるのでしょうか。靖国参拝は歴史論争、政治論争とは切り離し、全く別の次元で、もっと単純に「約束を守る」という一点で考えなければならぬのではないのでしょうか。また、靖国神社の代わりに皆が納得いく代替施設を作ろうという話があります。しかし、これでは外国は納得しても一番肝心な亡くなった人が納得しません。「約束が違う。」とお叱りを受けるでしょう。六本木ヒルズより大きい施設を作っても絶対だめなのです。「靖国神社」でなければならぬのです。

鳩山政権前の自民党も靖国参拝に関してはひどかった。総理がコソツと参拝したり、「玉串料はポケットマネー」など言ったり、この鳩山政権、「一致団結靖国参拝をしない」これほどひどい政権は古今東西どこを見渡してもないと思います。私達はもはや我慢の限界。この東京で「打倒民主!」を訴えます。(桜組 増木直美)

## 私たちは、台湾立法院高金素梅を刑事告発いたします

《平成22年4月20日現在》

工藤吉五郎

金澤由紀文

緒方守 米川政宏 菅原正男

相澤宏明

金井紀征

針ヶ谷務

葛西秀亮

村山義夫

辻田嘉之

小松隆夫

三上敏子

石坂和義

平山憲司

小高俊雄

本多俊哉

竹内孝彦

讃井文夫

村松輝人

小川益男

嘉藤和子

村田春樹

小林義英

江藤利幸

吉田貴

高橋節子

寺山八重子

岡本朝秀

三宅教雄

道添隆寛

加藤修

吉川千代子

布浦慎司

西村昌一

友部幸洋

伊東孝司

加藤哲史

半本茂

浅見秀夫

金沢春高

小林利光

沼山光洋



日本世論の会 三輪和雄会長

【群馬】 浅見秀夫 金沢春高 小林利光  
沼山光洋 熊谷猛 高山あずさ  
吉野秀一郎 小原功士 清水隆益 竹内泰存  
吉田康一郎 中村年子 小林幸子 中藤健三  
荒岩宏奨 難波江紀子 荻原裕二 菱倉義成  
小野寺彰 福留聖司 大内雅之 武田光江  
中田雅子 高山輝雄 町田正己 森進一郎  
小原功士 桑本崇秀 平賀 徹  
藤田裕行 倉田勝彦 佐藤千枝  
溝口真之 有門大輔 瀧澤伸一  
郎 鈴木 三枝子  
佐藤晃 君塚寿夫 石坂友一  
山口勇治 石塚英行 大内栄子

竹内泰存 君塚寿夫 中村年子 広瀬昭八  
広瀬一森山秀雄 木下忠久 吉川法人 吉川  
勇人 松本賦壽山口倫治 山口悠香  
【神奈川】 嶋田尊治 郷石近夏美 富田  
定幸 梶井秀 阿世知俊幸 竹内利行  
阿曾康夫 中村寿徳 春藤健一 浜中勲  
橋ヶ谷修  
【静岡】 数崎光治 美和哲治  
【奈良】 西秀士 瀬戸保彦 鷺尾高史  
片山昌紀 大西秀雄 齋藤基樹  
【滋賀】 新井栄一郎 福井泰弘 大滝宏  
【京都】 大森行幸 田中修  
【三重】 小林路義 石田潔  
【大阪】 松谷祐子 松田晃平  
増本重夫 荻野弘子 戸映光弘  
鹿島洋志 小倉 悟 赤田正和 岡田隆彦  
井上和夫 吉川昌宏 江上嘉隆 藤重武義  
村田育子 田中穰 三浦繁之 中川隆史 亀  
田喜一 葛目浩一 中田康二 三好栄治 福  
井信子 小西壮介 高場八代子 田中道子  
福栄孝夫 小西正秀 阿辻満 加藤高幸 前  
川栄子 青木巡 上野和幸 吉岡 捏 相田  
吉広 井上和夫 三浦繁之 西尾和彦 山本  
智子  
【兵庫】 山本明 藤島雄平 寺本孝男  
下井田洋平 草葉忠芳 亀井浩二 佐野賢治  
宇根元宗泰  
【岡山】 西川晃男 福井慎二 高森一仁  
今村良孝 山崎守 塩本恭司 山崎明美 西  
川和喜子 西川泰光 出口清子 水谷洋子  
水谷嘉代 江本幸夫 出口和男 瀬戸保彦  
鷺尾高史 春田明俊 那須岩男 長田雅恵  
山内俊哉 宮田泰浩 高森淳子 片山昌紀  
中原大介 井上靖雄 土井君仁 植山敬石  
【広島】 佐藤正夫  
【香川】 上野周良 元満正樹  
【愛媛】 弓場 徹  
【島根】 梶谷萬里子 福留暢哉 奥山恭  
浩 門脇 樹 【福岡】 小川慎太郎  
【大分】 市川弘城  
【長崎】 藤澤真二 松尾雄一 荒尾伴市  
【鹿児島】 松下英二雄



# 土屋敬之 緊急訴訟 民主党を提訴

M情報110号、印刷も終わり、封筒詰め込み作業を開始しようと思っていたところに土屋議員から、「民主を提訴」の一報が。全8頁で再編集、刷り直しました。

「民主を提訴」の一報、お伝えしないわけにはいかないでしょ。

=====

## 《訴状抜粋・要約》

### 訴状

原告 土屋たかゆき

被告 民主党東京都支部連合会

被告 連合会会長職代行 海江田万里

被告 菅 直人

被告 大河原 雅子

被告 菅 直人

被告 大河原 雅子

被告 菅 直人

被告 大河原 雅子

被告 菅 直人

被告 大河原 雅子

被告 菅 直人

被告 大河原 雅子

被告 菅 直人

被告 大河原 雅子

被告 菅 直人

被告 大河原 雅子

被告 菅 直人

被告 大河原 雅子

被告 菅 直人

被告 大河原 雅子

被告 菅 直人

被告 大河原 雅子

被告 菅 直人

被告 大河原 雅子

民主党が政権公約として「民主党政権政策マニフェスト」を21年7月27日を発表するが、これが選挙運動用であり、実際の政策は、「民主党政策集インテックス2009」に基づいて実施することであった。そして、政策集には掲載されているにもかかわらず、「外国人参政権」「夫婦別姓」など、国の形を変え、家庭の形を変える重要な政策は、マニフェストには掲載されていないことがわかった。

「政策は正直であるべきである」との信念のもとに、21年7月31日のブログでその問題点を指摘し、さらに、平成21年8月26日発売の雑誌「L」に論文を発表した。

原告の論文発表は、「選挙はマニフェスト、政治は政策集」などという都合主義の使い分けは有権者を欺くものであるとの意見表明である。議員としての良心に基づくものであって、目的の正当性は明らかである。多くの有権者から、「マニフェストの内容には共鳴できるが、それとは別の政策集なるものの存在は知らなかったし、もしその内容で決めていくのであれば投票などしたくない、詐欺に等しいやり方だ。」との抗議や批判が相次いだ。この様に自らが所属する民主党が詐欺呼ばわりされることを懸念して、党の為に叫んだものであり、決して反党行為でもなんでもない。

原告は、いやくも都民から多くの支持票を集めて選出された都議会議員である。除名処分は、その地位に関わる重大な決定事項である。ましてや、12年の長きにわきにわたって民主党に所属し、党および都連の重責を担ってきた議員であることからすれば、相応の配慮が求められてしかるべきである。その権利行使につき強い意志を有する原告に、弁明の機会を与えないまま、

一方的な処分を出されたことによる原告の精神的打撃は多大である。

しかも、被告民主党都連の処分の発表に際しては、処分の理由となった事実を明らかにしないばかりか「出席要請を4回行った」などと事実と異なる一方的な情報を流しているが、少なくとも正式文書による出席要請は、2通のみであって、同被告の発表は真実でない。これらの発表をうけての新聞テレビ等での報道記事は、単に「反党的行為をしておきながら呼び出しにも応じなかった」等と、あたかも被告側に適正手続きが存在せず、原告が呼び出しを無視したかのような事実反する報道となっている。このことは、被告らが不実の情報を提供し、世論を誤導したことを意味しており、これによって原告の社会的信用は著しく損なわれたのであって、原告の被った精神的打撃は甚大である。



【桜組】と一緒に H22-2-28 大阪難波にて

土屋たかゆき都議からのメッセージ  
「公約は正直に!」と言って、民主党を不当除名された都議会議員 土屋たかゆきと民主党の裁判が始まります。

このサイトでは、この裁判の経過を皆様に出来るだけ速やかに報告し、民主党がいかに、民主的でない政党かを訴えていきたいと考えております。皆さんも、是非土屋たかゆきを応援してください!

<http://tutyainfo/>

## カンパのお願い

日本再生!闘う都議会議員 土屋たかゆきの活動を支えるためにカンパをお願いします。

土屋たかゆきの政治活動は、利権に関係しない皆さんの浄財によって支えられています。闘いを続けるに為にも、資金が必要です。ご理解を頂き、皆様の浄財をおねがいします。

一口 1,000円(出来れば3口以上でお願いいたします。上限は年間100万円です)

下記口座までお振込下さい。

※寄付はすべて個人名義でお願いいたします。また、匿名による寄付は認められておりません。

■郵便振替

口座番号 0070-2600179

加入者名 土屋たかゆき事務所

※寄付金控除をご希望の方は、通信欄に控除書類必要をお書き下さい。

■銀行振込

みずほ銀行 大山支店(支店コード628)

普通 1532341

口座名 土屋たかゆき後援会

※お手数ですが、お名前、住所、ご職業と寄付金控除をご希望の方はその旨を、土屋敬之事務所まで、電話またはメールで。

## ささやかな戦争体験談

西川 晃男 (岡山)

私は一年半の軍隊体験がある。復員してみると実家は幸いにして戦災に遭っていなかった。それで戦災で丸焼けになった神戸の複数の戦友の家の再建の手伝いに、昭和22〜24年の間何度か神戸へ通った。

戦友は「時々変な奴等が集団でやって来るから、彼等と決して目を合わせな」と言った。

何日目かに、腰に付けた小太鼓を打ち鳴らしながらやって来た三十人ばかりの彼等は、頭だった者は前記のように飛行服を身につけ鉄パイプを持っていて、子分共は不揃いな軍帽を被り肩バンドつきの帯剣を着けて、拳銃らしいモノやごんぼ剣を下げてたりして居た。そして「我々は戦勝国民！文句力ある奴はデテこい！」と喚いて周囲を威嚇しながらやって来た。

小太鼓の音が遠くから聞こえたし戦友から注意を受けていたので、逸る心を抑えながら建てた柱を支えて壁のトタンの隙間から見送った。「コン畜生！戦争に負けたからと言って、奴等からこんな恥ずかしい目に遭わされねばならないとは・・・」と悲憤したのを思い出す。

兵庫区と林田区の裏通りのだったせいなのか、一度と出会うなかったのが幸いだったが、買い出しに闇市へ行つて「スイトン（色の茶色い小麦粉の団子が入った雑炊のようなモノ）屋」へ入ると「生田警察署が奴等に襲撃されたらしい・・・」とか「蒸しパンを売っていたら朝鮮人に台をひっくり返されて蒸しパンを奪われた人が居る」などの話が飛び交っていた。

神戸へ通っていたある時、三宮駅のホームで電車（当時鉄道省の電車を省線電車と言っていた）を待っていたら、上り線に当時占領軍専用に使われていた一等車（車体に白い帯が描いてあった）が信号待ちの故か停車した。「どうせアメ公がふんぞり返っているのだろう・・・」と思いながら目の前の車両を見ると人影がない。不審に思つて近寄つて中を見ると、白い麻のカバーを掛けた座席の上から通路まで、麻袋や木箱に入つて縛掛けされた一見して闇物資と思われる貨物が満載されている。そして扉を開けた前後のデッキには「戦勝国民」と大書した腕章を着けた男が二〜三人ずつ、我々を見下し勝ち誇つたような顔でニヤニヤしていた。「虎の威を借る狐」よろしく、RTO（占領軍の鉄道輸送司令部）に渡りをつけて、警察が手をつけられない占領軍専用列車で、白屋堂々と闇物資を大阪向けに運んでいたのだろう。すぐに発車したが、闇物資を積んでいたのは2両で莫大な量だったと思われた。

そして最後尾の展望車には占領軍の家族だろう若い女や子供達が乗っていて、我々を見下ろし蔑んだ目で見ていたのが印象に残った。今から思えば、彼等の国での列車はプラットホームが無いに在っても低いので、車内の彼等・彼女等と目線が大体同じ高さなので気に食わなかったのかも知れない。

時は遷つて昭和21年春の、白黒テレビの試験放送が始まつて間もない頃。焼け残った我が家に当時珍しかったフィリップ社の「マインチテレビ」が導入された。プロレスの力道山が活躍していた時だったので、夕食後の我が家の座敷には近所の老若男女が集まつて立錫の余地が無い程の賑わいで「よし行け！」「なんでやねん・・・」

等の声援が飛び交っていた。その時はるか遠くで打つ太鼓の音が聞こえた。その時の皆の様子が今に忘れられない。

“ギョッ”としたその場の雰囲気・・・それは「とうとうこの近所にも朝鮮人が押し寄せてきたのか」という緊張の瞬間で、中には腰を浮かせて逃げだそうとする者さえ居た。

## 君はエビフライ派？ とんかつ派？

増木重夫 (M情報)

ファミリーストラップが週末、家族連れで大変にぎわっています。お父さん、お母さん、子どもたち。まずメニューに飛びつくのは子どもたち。とんかつがいいとか、エビフライがいいとか、ワイワイガヤガヤ。さて、子どもたちにエビフライを注文するか、とんかつを注文するか、選ぶ権利はあるのでしょうか？

おそらく九十五%の人が、子どもに権利があると答えます。本当にそれでいいのかどうか考えてみましょう。

さて、権利と義務は一对のものであることには異論はないと思います。そこでK君は選ぶ権利を主張しエビフライを注文しました。そして食べ終えました。そうするとどういふ義務が発生するのでしょうか。そうです、代金を払わなければならないのです。ところが子どものK君に代金が払えますか？誰が代金を払うのですか？お父さんが払うのです。ということは、K君は代金を支払うという義務を履行出来ないわけですから、エビフライ選んで注文するという権利もないわけです。エビフライを注文するか、とんかつを注文するか、メニューを決める権利は代金を支払うお父さん

しかしその太鼓の調子から、戦争に因つてしばらく中断していた春祭りを再興しようとする青年団が、稽古のために少し離れた神社で打っている太鼓の音だと判った。その時のヤレヤレといった雰囲気との落差が忘れられない。事ほど左様に、朝鮮人の暴虐行為が巷の人々の間に知れ渡っていたと言つ事なのだが、今では全て忘れ去られてしまっている。

にあるわけです。みなさん思い違いをしていませんか？でも現実問題は、みんなレストランでは子どもたちが選んでいます。ちょっと難しい話になりますが、これはエビフライを注文するというお父さんの権利をお父さんがK君に譲渡、あげたのです。本来持つていない権利をお父さんからもらったという話と、本来権利を持つていたというのは根本的に違つてあって、子どものほうから「僕にメニューを選ぶ権利がある」とは言えないのです。お父さんにはお父さんの財布の事情もあるしね・・・同様に子どもたちが自分の部屋に鍵をかけることについて考えてみましょう。自分の部屋に鍵をかけるのは当たり前、「私にもフライパシーがある」当然このように考えられると思います。でもこれはおかしいと言わざるを得ません。鍵をかけるということは、すなわち、占有を意味します。占有するには所有（買い取る）するか、または所有者から家賃を払って賃借しなければならぬのです。要は買い取るか家賃を払う。いずれにせよお金を払えない子供に部屋に鍵を掛ける権利などあるわけがないのです。思い違いをしてませんか。



## 平成の大脅迫

## 主権回復を目指す会

## 「西村修平研究」

最近、西村修平率いる「主権回復を目指す会」の活動に賛否両論がましい。西村修平なる人物はいかなる人物か。彼を批評する一資料に加えられた。今から2年半前の話である。

一昨日(平成19年九月)5日、「トロイの木馬」作戦敢行。結論から言つと、木馬は総ガラス張りでも良かったのかもしれない。ということです。

先日米国議会で、マイクホンダ提案の従軍慰安婦謝罪決議に対し、私達は米国外務館に、地方議員軍団を編成し、抗議と沈黙化を求めていると陳情と申し入れ行きました。慰安婦決議の話題が拡大すれば「米国の原爆投下、無差別空襲に対しての謝罪要求運動を起こす。」と仕掛け花火を持って。米国外務館へ、イザニイタカヤマノボレ

【史上最強の地方議員軍団】

代表 高山 博光 福岡市議会議員  
伊藤 玲子 元鎌倉市議会議員  
穴倉 清蔵 千葉市議会議員  
古賀 俊昭 東京都議会議員  
三橋 弘明 茂原市議会議員  
事務局長 増木重夫 西村修平

15時30分、赤坂の米国外務館到着。周囲の警備は大阪領事館の10倍。周囲のビルの最上階には警備担当がいるとか。警視庁の警備隊長に「30分以内に帰ってこなかったら戦車で助けにきてよ！」と約束。西村修平氏と、「無事出てこられるかな〜」。「まず玄関での身体検査。携帯電話、ペットボトル、電子機器等一切持ち

込み禁止。録音テープなど論外。係官に「拳銃は持っていないですか」と問われた。形式的なものだろう。穴倉議員が「ささやかな物?を一丁持っています。」とわけのわからない返答。伊藤玲子先生が「何言っているのよ」と、わかってかわからずかわからないが一発かます! この辺はまだ、皆心に余裕!余裕! 中に入ってから「CONAN」のカードをもらう。すかさず古賀議員が「縦書きにしろ!」ここでも言うか。応接間にたどり着くまでに計4回のセキキュリティチェック。最後の関門は小銃を持った

話が前後しますが、今回の大使館訪問に当たって、事前交渉で(当たり前の話ですが)①目的 ②訪問者名簿、等の提出を求められ、根拠り葉堀各々の詳細を質問されました。参加議員は「百人の会の地方議員有志が」ということでしたので「百人の会のエグ」の出身にまで質問されました。米国は我々のことを調べつくしています。私の

本業の塾のことにまで話は及びました。私は訪問者に「事務局」として一か八か西村修平を申請しました。西村と言え



館に街宣、抗議に行った回数数十回...米国から見るとチョー札付き。ビンラビンが西村修平。そこまで大物ではないにしろブラックリストに乗っていることだけは間違いありません。西村を外せといわれるか訪問が潰れるかの賭けでした。ところがノープロブレム。こっちがびっくりしました。まさかこの西村の訪問を認めるとは。米国の「太っ腹、奥の深さ」を感じます。「スゴイ国だ〜」通らばリーチと思

ったと思った。好まざる相手、もつと言えは脅しに来た相手にまで誠実に対応する寛容さ。氏がここまできつと我々に対応したことが脅威の第二でした。私は今までに「背面服従役人マン」にいやというほど会ってきた。私は決してアメリカびいきではない。特に新米というわけではない。この対応は日本の役所ではありえない。そして高山博光団長が、こちらが用意した趣意書と賛同人名簿を机の上に置き趣意を話し始める。私達の心配は「趣意書」、ハッキリ言えば脅迫状を米国が受けるか否か。いかに、「原爆謝罪!」と書いてある趣意書を受けとらせるか。そこが今回の作戦のポイントでした。訪問のアポイントを取る段階で「原爆謝罪」を言い出すと、面談を拒否されるのではないかと思ひ、そのことは国境を越えて(大使館に入り込んで)から話すこととし、「議會での従軍慰安婦謝罪決議に抗議」だけを面談の目的とし、申請したわけです。いわば、トロイの木馬作戦。しかしそれは余計な心配で杞憂に過ぎませんでした。

氏案内で部屋に入り席に着きました。ナッパ氏が英語で口火を切ります...それを秘書が通訳。①遠くからも来ていただいたことに大変感謝する。②地方議員、市民の皆さんと交流の場がもてたいへん嬉しい。今まで経験のないことだ。皆さんの勇気に敬意を表したい。③英語で話すことをお許し戴きたい。私は皆様からお聞きしたことを私がどのように理解したかを話します。私は皆様の話されたことを正確に本国に伝える義務がある。間違った理解があれば指摘して欲しい。」

「私は一日本国民として米国外務館政務部次席のマークE・ナッパ氏に申し上げたのです。」

たいへん丁寧でそつがない。対応に誠実さと真摯さを感じる。政治的回答の如何はもちろん分からない。しかし氏の対応を勉強できただけでも来た価値は十分にあり

「私は一日本国民として米国外務館政務部次席のマークE・ナッパ氏に申し上げたのです。」

げます。議会で通つたいわゆる慰安婦強制連行の決議案だが、シナ・中共の対日精神侵略の重要構成部分であり、日本を精神的に屈服させる歴史偽造であります。シーフアー大使始め米国議会の議員の方々の知性は極めて高いことを我々は知っています。その方々の知性をもってして、慰安婦強制連行が国家的レベルで日本が行ったなど、誰しもが信じてはいないはずであります。十分に歴史偽造であることを分かっていて、日本を非難している。慰安婦強制連行を最も声高に叫んでいるのが、中華人民共和国のシナ・中共だが、この国家は世界最大の人権蹂躪国家であることは言うまでもありません。この中華人民共和国は、我が国と同盟関係を結び、民主主義という価値を共有する貴国との関係において、国家の価値観をにする一党独裁国家であります。

自由主義国家に属する筈の米国が、独裁国家のシナ・中共と一緒に歴史偽造を煽る事態を、我々は米国がシナ・中共と共に日本人を精神的に共同管理する方向へソフト転換したとみなさざるを得ません。つまり、国家の価値観を共有する同盟関係の破棄とみなすことが出来るのです。先程から、我々の発言にあった米国の原爆投下、東京大空襲、各地方64都市への爆撃、非戦闘員への機銃掃射などの戦争犯罪を、これまで告発することを控えて来たのは、貴国と日本が揺るぎない同盟関係にあればこそだったからです。

昭和20年8月15日、米軍占領軍の先遣隊が厚木基地に降り立ち、最初にした任務は米兵専用の慰安所の設置でした。米兵の婦女暴行を防ぐとして、我が国政府は早くも同月18日、通牒を発して、米兵相手の慰安所を各地に設置したのです。そこには

日本人女性約8万人が集められ、貴国の兵を相手の性的使役に供せられた。米国は我が国女性に対して性奴隷制を強要したのであります。米国はシナ、朝鮮と仲良くして歴史偽造を演ずる前に、戦争犯罪の数々と日本人女性に加えた幾多の性暴力に国家として謝罪し、被害者に賠償金を支払う義務が生ずるのです。米国が、独裁国家と共に歴史偽造を煽り、我が国の名誉を汚すに至っては、もはや同盟関係は成り立たない。米国が慰安婦決議案の撤回をしないとすれば、我々日本人は米国に宣言しなければならぬ。日本国民は米国に寄せる幻想から目覚め自主独立を目指す。シナ・中共の侵略と戦うのはもちろん、我が国土は我が国民が守る自主独立であります。米国が犯した日本人殺戮の戦争犯罪と我が国女性に加えた性暴力の犯罪を徹底して告発・追及していくと。

願わくは、米国がこれ以上、我々にこうした行動を起こさなくても良いように最大限の配慮と決断を示して頂きたい。」

これが西村修平の大演説の全容です。ほとんど一字一句間違っていないと思います。これは本に書いたわけでもなく、身内の講演会で言ったのでもありません。米国大使館で、大使館を代表して我々に担当した米政府の高官に面と向かって声を荒げるわけでもなく、淡々と、しかも堂々と、目を見据え言ったのです。ナッパ氏も西村修平の顔から視線を外しません。

トアの外には自動小銃を持ったM4が！まさに日米のガチンコ対決。私は聞いているだけで、その緊張から脂汗。今までにここまでハッキリものを言った日本人がいるでしょうか。私は思いました。今後このような、こころ一番という外交交渉には

絶対西村を出させることである。と。外務大臣10人分の仕事を彼はやったのではないのでしょうか。自賛しますが、私が西村同行を企てたことは大正解で、誉めて戴きたい。次は古賀先生。「俺の言うことがない！」最後に私（増木）。

「アメリカは兄である。たいへん尊敬している。しかし足を踏まれるといくら尊敬する兄であっても噛みつきたくもありません。日本と米国は絶対兄弟喧嘩をしない。

世界は平和と秩序のため末永く信頼と友情を持って付き合わなければならない。それが破綻する原因をつくることは絶対止めて欲しい。今さら議会で決まったことを撤回が出来ないことも重々承知しています。日本には『塩漬け』と言言葉があります。スミマセンが、『塩漬け』通訳していただませんか（秘書に）。いや、意味は良く分かります（ナッパ氏）。塩漬けにして戴きたい。」

ナッパ氏は

「皆様のご要望はワシントンと議会に私が責任を持ってお伝えする。お約束します。」と語られました。それも我々から言い出だす前に。我々は我々の趣意が本国に届くかどうか、途中で消されるのではなからうかと一番に心配したわけですが、我々の心情の先読み。敵ながらアップル！と言わざるを得ません。

ナッパ氏は40歳くらい。もちろん対応の作法は彼個人のものではなく米国の作法でしょうが、度量の大きさ・・・外交とは何かということをやというほど勉強させられました。そしてこれから日本が米国と対等に付き合うためにはどうしたらいいのか。それは国民総西村修平にならないければならないと感じました。こう言え

相手はこう思うだろうから、とか、これを言ったら角が立つ、友好にひびが入るからなどと思っていたら相手にバカにされるだけ。ハッキリ言わないことが日本の美徳、奥ゆかしさ。それは国内の話であって、外国人と真の友情を深めようと思つたら、日本人には最も苦手ですが「対応は誠実に、そして率直に思いを言うこと」これしかないと思います。いま、ナッパ氏が最も信頼している日本人は西村であるといつてもオパーではないと思うのです。

私は原爆謝罪のことを「脅し」と表現しました。もちろん冗談です。しかし国際社会においてはこれが常識。べつに「脅し」でもなんでもないのです。単なる外交カード。逆に言えばカードを持たずに外交交渉をすることが、相手にしてみれば、「おれたちゃ忙しいんだよ。暇人の愚痴に付き合えねえヨ」ということになるのではないのでしょうか。そしてこのような交渉術を日本の役人は是非身につけて戴きたい。

30分間のアメリカ旅行でしたが、とにかく、日本人としての「誇り」だけはキツチリ守ってきたと自負しています。緊張と充実と、生涯に残るであろう一日でした。この慰安婦問題、我々の抗議が功を奏してか否かは分かりませんが、一旦は落ち着いたました。しかし、当分は警戒警報。今後ともご声援ください。

米国に長崎広島原爆投下の謝罪を求める地方議員と市民の会

<http://ndpafjp/kanryo/hiroshimagasaki-top.htm>

皆、西村修平の外形、上辺だけをまねるのではなく、彼の思想、意思を真似るべきではないか。西村と同じような演説ができ、初めて諸々のことが免許皆伝。許されるのではなからうか。

## ただいま係争中経過報告

### ■広島県国旗差別国家賠償請求

昨年2月、広島市で、ミニチュア国旗を車に掲げていたことを理由に警察官から職務質問され、公道を閉塞され、さらに行動閉塞という行動を制限された件につき、

平成21年8月20「国旗差別慰謝料等国家賠償請求事件」として、本人訴訟で行政提訴。被告(広島県警)は原告(増木)等を①右翼っぽい②粗暴③虚偽の申し出等の理由で職務質問した。違法ではない。という。原告は職務質問が違法ではなく人の壁で通行を遮断したことを問題にしている。ただ事実誤認だけは指摘しようと思ひ、被告の証拠を見た。なんと、ウイキペディアに「増木は極右」と書いてあることをもって右翼の証拠にしている。私は、「増木は清廉潔白、品行方正」とウイキペディアを書き換えプリントし、「誰でも書き換えられる」という証拠として提出した。このよう

なものを証拠にする警察にあきれ返る。次回公判 5月14日午後2時より証人(原告増木、警察官)調べ。広島地裁3008号。

### ■朝鮮総連固定資産税減免取り消し住民訴訟続

大阪市、堺市、京都市、神戸市の朝鮮総連関連施設固定資産税減免問題で、救つ会大阪は各市に対し住民監査を請求した。ところが四市とも棄却。そこで速やかに徳永信一、本田重夫弁護士等に事件を委任し行政訴訟。対大阪市は大阪地裁にて弁論中

### ■西宮教組スト謀議刑事告発

平成二十二年十月六日、兵庫県西宮警察署に、兵庫県教職員組合西宮支部支部長、同大社小学校分会長を、平成二十一年十二月にス

トを謀議した理由で「地方公務員法第37条」で刑事告発をし、受理されました。そして十一月十三日、同署で告発人(増木)の事情聴取。現在西宮教組側を取調べ中。近日中に起訴、不起訴の判断が示される。起訴されると思うが、万一不起訴の場合速やかに検察審査会に審査請求の予定。

### ■村山富市元首相 貝原俊民元兵庫庫庫知事らを殺人で刑事告発

平成7年1月17日5時40分頃、阪神淡路大震災が起った。それから15年が経った。

「地震は天災だ。そんなことは分かっている。しかし、100%天災か。人災の部分はないのか。もしその部分があるなら、その部分は責任者が責任を取らなければならぬのではないのか。今まで15年、誰かがすると思った。しかし誰もしない。それなら我々がやらなければ。」

こういう思いで時効が迫ったギリギリの1月13日、村山富市元総理大臣、貝原俊民元兵庫庫庫知事を「阪神淡路大震災の被害を語り継ぐ会・代表中山嶺雄、事務局増木重夫」が兵庫地検に刑事告発した。そして受理されたのだ。ところが2日後に不起訴通知が来た。理由は「罪とならず」。言い換えれば被疑者らは全く真つ白で疑う余地もないということ。

同じ不起訴でもせめて証拠不十分とか、嫌疑不十分とか、多少の灰色はつくと思つた。ところが真つ白。限りなく門前払いに近い。これは到底納得できるものではない。約6400人の亡くなった人が全て天災か。そんなことはありえない。そこで早速神戸検察審査会に審査の申し立てを行った。現在、検察審査会で審議中

## 自民党再生に向けて

つくる会千葉県支部幹事 小川 寿三郎

今の鳩山左翼政権は防衛、教育、領土問題、日本の伝統文化の破壊等甚だ危険な政策を企んでいます。対する自民党も党員が結束して、民主党との違いを鮮明に打ち出すことが出来ず誠に歯がゆい限りです。

国民の財産と命を守るのが政治家の使命であるならば、韓国に実行支配されている「竹島」そして今韓国資本に狙われている「対馬」、中国が虎視眈々と狙っている沖ノ鳥島及び与那国島等の領土問題に毅然たる態度で対峙するのが今こそ国民は自民党に求めているのではないのでしょうか。

又、国旗、国歌、全国学力テスト、教師の免許更新、道徳教育等ことごとく反対する「日教組」こそ我が国の伝統文化を破壊し、家族崩壊を目論む諸悪の根源です。自民党は義家議員等を先頭に教育を混乱させている日教組に民主党に鋭くメスを入れて欲しいと思います。山梨の奥石等を何故権力の中核に置くのですか。小林千代美と共に、是非失脚させるべきだと思います。

そして、もう一つは「靖国参拝」です。韓国や中国が何を言おうが、お国の為に尊い命を奉げた英霊が眠っている靖国神社に自民党議員の皆さんは堂々と参拝したら良いと思います。我が国のマスコミも問題です。私は安倍総理が教育基本法の改正をはじめ短期間に素晴らしい仕事をされたことに大変敬意を表している一人ですが、是非引き続いてこの政策を継続して取り組んで下さることを要望します。貴会より、是非今の自民党再生に向けて、民主党の暴走を阻止する具体的な政策を打ち出すよう強く要望して下さい。

## 活動資金ご協力をお願い

【ご支援等の口座】

郵便振替 006008245547 MASUKI情報デスク  
三菱東京UFJ銀行 千原支店 004349 普通 増集集

先ずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは「国を破壊しよう」と思っている連中」と日々命がけで戦っています。ところが問題は活動資金。子供達に誇りある国を残すため今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏して願ひ申し上げます。

○ カンパ金の主な使途は左記団体の活動の企画運営費です。

・活動の広報、資料等の発送費 ・道路公園使用申請料等 ・活動のための交通費、通信費 ・資料、横断幕、ピラ等の制作費 ・備品購入費

○ M情報が活動の企画運営を行っている主な団体

・救つ会大阪  
・靖国神社に眠る御霊に感謝する会  
・米国に原爆投下謝罪を求める会  
・大阪の公教育を考える会  
・スパイ防止法の制定を求める会  
・外国人参政権に反対する会・関西日教組の違法行為を追及する市民の会  
・NO! 民主「桜組」  
・竹島を奪還する会・関西前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。

【編集後記】

5月23日(日) 午後2時半より近鉄なら駅前「桜組」の街頭演説会。奈良は外国人参政権反対34都道府県入っているんです。